

山形市野草園おすすめお散歩コース 20250516 現在

(ひょうたん池・クリンソウの谷周辺はたくさんの草花が見頃を迎えています。)

軽くお楽しみいただけるおすすめ散策のコースを設定しています。

ミヤマカスミザクラ・アズマシャクナゲコース (所要時間30分)

ゆったり一周コース (所要時間70分)



「クリンソウの谷」  
クリンソウのフォトスポット  
咲き始め 2500 株のクリン  
ソウを 3 年後まで 5000 株  
まで増やす予定で、株分  
けや植栽をしています。

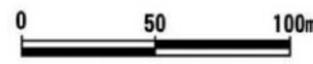
「吉林の庭」  
シダレザクラのフォトスポット  
見納め

ヤエバニシダレ  
6 分散り

シャクヤク  
ポタン  
間もなく開花

「ツツジの丘」  
多くの種類のツツジの  
フォトスポット

シロヤシオ、ヤマツツジ、レンゲツツ  
ジ、サラサドウダン、ムラサキヤシオツ  
ツジ、アブラツツジ、トウゴクミツバツ  
ツジなどが植栽され、今が見頃



「シャクナゲの丘」のアズマシャクナゲ  
は白花と赤花があります。葉の  
裏がベルベットのような肌ざ  
わりが特徴です。見納め



「ミヤマカスミザクラ」  
世界で本園だけの桜  
5 月 4 日開花。花は  
9 分散り、見納め



オキナグサ  
花も人気です。実がなり、綿毛  
をまとった姿が翁 (おじいさ  
ん) の白髪姿のようになります



□ スマホ・パソコンなどをお使いの方へ

野草園を楽しんでいただくために、インターネット利用した、3つのサービス行っています。ぜひ、下記のQRコードを読み込み、野草園内の散策をお楽しみください。(注：スマホを見ながらの歩行は危険ですのでおやめください。)

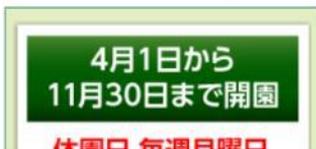
① 野草園のホームページにアクセスして、最新情報をご覧ください。(最新の開花情報、これからのイベント情報などが見られます。)

② 野草園マップにアクセスして現在地を確認できます。(園内で道に迷ったとき、おすすめ散歩コースを確認するときなどにお使いください。)

③ 野草園植物検索システムにアクセスして、植物についての知識を増やしましょう。(この植物、もっと詳しく知りたい。花の色や、実の形はと思ったときにお使いください。また、植物ラベルにQRコードが付いている場合は直接読み込むこともできます。)



④ インスタグラムも充実しています。最新の開花情報、これからのイベント情報などが見られます。



ここをクリックすると、植物検索システムの中に入れます。

昨年から、学名入り看板を作成しています。植物名の緑色の背景は「草本」、青色は「木本」、赤色は「有毒植物」になっています。「サクラ属&ウワミズザクラ属」はピンクの背景になっています。黒プレートは「木本」、白プレートは「草本」です。

**ミスバショウ (サトイモ科)**  
学名 *Lysichiton camtschatcensis* (L.) Schott (Araceae)

シベリア東部、サハリン、千島列島、カムチャツカ半島と日本の北海道と中部地方以北の本州の日本海側に分布する。南限の兵庫県淡路市の加茂坂峠にも隔離分布している。約1万株生ずる野草園のシロヤナギ、ハシロウとは葉の長さ1~1.5m、幅50cm程度の大きな葉をつける植物で、ハシロウの仲間である。ミスバショウの葉も花後は約80cmにもなるのでハシロウと名がついた。花弁に見える白い部分は、仏炎苞(ぶつせんぼう)と呼ばれる葉が変化したもの。和名「水芭蕉(ミスバショウ)」は、ハシロウの葉に似て、水辺に咲くため。

開花前 花期 4月~5月上旬 花後の葉 冬芽

**ザゼンソウ (サトイモ科)**  
学名 *Symplocarpus renifolius* Schott ex Tzvelev (Araceae)

北アメリカ東部および北東アジア(北東シベリア、中国北東部および日本)に分布する。関東地方北部に分布する。国外ではヨーロッパ、アジア、北アメリカにも広く分布している。特に川沿いの湿地など、水がたまりやすい場所によく見られる高さ20~30cmになる落葉高木。雌雄異株。若い木の根皮は滑らかで黄色で、成長になると灰色で深い縦裂の割れ目が入る。葉は革質で、長さ5~11cmの長楕円状卵形から楕円状で先は尖り、縁には波状の鋸歯がある。裏面は濃緑色、葉裏は粉白色調は長く、葉が乾くと黄色になる。葉は緑色で葉裏は暗褐色になる。春に雄花は黄色い筒が目立つ花序をつけ、雌花は黄色い筒とした柱頭を持った花序をつける。葉巻、綿毛の付いた種子を飛ばす。和名「除穢草(ザゼンソウ)」は、花の色が憎が嫌うように見えるため。また、花を凍庫大瓶の底に置くと、タムシ(カビ)を繁殖させる。和名「水芭蕉」も誤り。

開花前 花期 3月~4月 花後の葉 冬芽

**シロヤナギ (ヤナギ科)**  
学名 *Salix dolichostylia* Seemen subsp. *dolichostylia* (Salicaceae)

北海道、本州の東北地方および北陸地方、関東地方北部に分布する。国外ではヨーロッパ、アジア、北アメリカにも広く分布している。特に川沿いの湿地など、水がたまりやすい場所によく見られる高さ20~30cmになる落葉高木。雌雄異株。若い木の根皮は滑らかで黄色で、成長になると灰色で深い縦裂の割れ目が入る。葉は革質で、長さ5~11cmの長楕円状卵形から楕円状で先は尖り、縁には波状の鋸歯がある。裏面は濃緑色、葉裏は粉白色調は長く、葉が乾くと黄色になる。葉は緑色で葉裏は暗褐色になる。春に雄花は黄色い筒が目立つ花序をつけ、雌花は黄色い筒とした柱頭を持った花序をつける。葉巻、綿毛の付いた種子を飛ばす。和名「白柳(シロヤナギ)」は、葉の裏面が白く輝く様子から、この名前がつけられた。

花期 4月

**ヤマブキソウ (ケシ科)**  
学名 *Hylomecon japonica* (Tunoda, Prantl et Kundig) (Papaveraceae)

本州、四国、九州に分布する。国外では中国に分布する。山野の下の下生える多年草。茎葉は黄色い汁を分泌し、葉は濃黄白色で、長さ30~40cm。ヤマブキソウは花の大きさに対し、茎葉は花の葉の葉、網目状の葉脈が特徴で若い葉は柔らかい。花は黄色で、雄蕊は切れ込みと細い葉がある。茎、葉腋に短い黄色い花序をつける。雄蕊の葉片は2層あり、花弁は筒状に落ちる。雄蕊は多数。雄蕊は1本。雌蕊は直立し、長さ5cm程度。葉の葉脈は網目状の葉脈がある。和名「山吹草(ヤマブキソウ)」は、別名がヤマブキとも書かれているように、花がヤマブキ科のヤマブキに似ていることが名前の由来。

花期 5月上旬~中旬